

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

ユニークで存在感のある企業集団として、社会と環境に貢献する

経常利益
130億円ROE
9.0%以上営業利益
50億円経常利益
80億円

② 中長期の経営戦略

1. 環境関連事業への資源投入

産業素材事業の新ボイラー稼働に向けたサーマルリサイクル事業拡大。マテリアルリサイクル技術開発とリサイクル事業拡大

3. 経営基盤の強化

人的資本の価値向上、ガバナンス強化、南アルプス社有林の有効活用と生物多様性保全

2. 製紙事業の製品ポートフォリオ入替

成長領域への製品投入。プラスチック代替のウエットモールドやTT-PACKAGE等環境配慮型製品開発

4. 事業ポートフォリオの変革

製紙事業と環境関連事業の両輪での成長を実現。セクターに捉われず成長が見込まれる環境関連事業を主軸化

③ 対処すべき課題

① 資本コスト意識経営の実現

- 株主資本コスト9.0%程度に対し現状ROE低水準。PBR1.0倍以下が継続
- より資本収益性の高い事業領域への進出。成長性訴求と将来リスク低減で市場評価獲得

② 環境関連事業の拡大

- 資源再活用ビジネスを高度循環型社会実現に向け展開。M&A等で集荷エリア拡大
- トーエイホールディングス、株式会社貴藤ホールディングスの経営統合で事業強化

③ 製品ポートフォリオ変革と原燃料対策

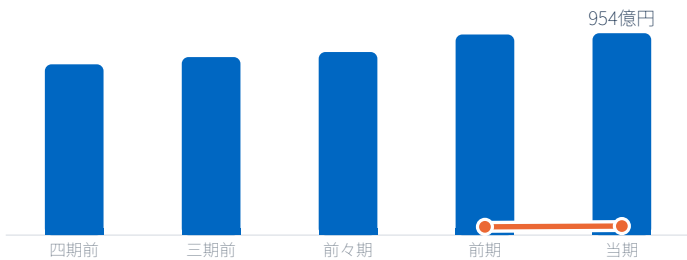
- デジタル化による紙需要減退。脱・減プラスチック需要増進への対応が急務
- パルプ等原燃料価格高騰で利益圧迫。燃料調達構造見直しと原価低減、価格適正化を実施

面接で使えるポイント

- 2034年度経常利益130億円、ROE9.0%以上達成に向け、環境関連事業を製紙3事業に次ぐコア事業として位置づけ...
- 2023年4月資本参加したトーエイホールディングス、2024年4月の株式会社貴藤の経営統合など...
- 南アルプス社有林の自然共生サイト認定（2023年10月）と新廃棄物ボイラー（2027年10月完工予定）など...

証券コード 3708

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
954億円営業利益率
4.5%財務健康度
39点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 56.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
716万円

パルプ・紙内 4位/24社

平均年齢
42.0歳

パルプ・紙内 15位/24社

平均勤続
19.0年

パルプ・紙内 10位/24社

女性管理職
5.2%

パルプ・紙内 9位/21社

男性育休
35.3%

パルプ・紙内 19位/21社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 特種東海製紙(株)【3708】：決算情報

